



要注目の外国株投信は「既存」で「好成績」

い つさい間違っただけのこと、言えないという制約の下での発言は、真実を突くことまれである。拉致被害者の会あるいはヒ素汚染をめぐる住民集会での官僚諸氏の受け答えを想い起こしてみればよいが、善しあしの問題ではなく法律の忠実なる施行者として彼らは「いかに間違っただけを言わないか」に腐心し、「よりよきことを言おう」とは決して考えないのだ。さて

「投資家教育」としてなされる啓蒙的な言説にも、正確さを重んじるあまり実際的でないものがあると思う。たとえば投資信託に関しては「過去の運用実績は今後の運用成績を推定させるものではない」とよくいわれる。「たとえ過去どんな目が出ていたとしても、次にサイコロを振って偶数が出る確率と奇数が出る確率はつねに同じ」という理屈による。つまり「過去の運用成績がよかったからといって今後の運用成績に期待されても困る」「責任は持てないよ」というわけだ。

確かにその言い分は正しい。間違っていない。だが、いったいこうした言説から、投資に関するどんな実際的な知恵を得られるのだろうか？ その一方では「過去の運用実績をチェックすることの重要性」が説かれる。リスク控除後のリターンを示すシャープレシオを教わったりしているわけ、口には出さねども多くの人の気持ちは「いったい、どうすりゃよいの」、だろう。

閑話休題。追加型株式投資信託全2050本の6月末時点での過去1年・3年・5年の騰落率をランキングしてみた(表参照)。

目立つのが「オーロラ」「オーロラII」といった名を冠したアジアや東欧諸国などへの特定地域集中投資型ファンド。これを目にする、やはり「過去は過去」なんて教科書的な言説に従ってはおれない。さすがに過去3カ月間ごとの騰落率は「これが投資信託の運用成績？」と思われかねないほどのアップダウンだが(図参照)、年次の運用成績は注目ししよう。

近年の新規設定の投資信託での流行は、「中国株」そして「インド株」という外国企業株を組み入れたものだが、それが最近では「東欧・ロシア株」に移行しつつあり、新聞紙上で取り上げられるのも、もっぱらこうした新規設定ファンドである。

だがランキング表で見たように、過去1年・3年・5年で歴とした運用実績を残している同様のファンドがあるわけ、まずはこうした好成績の既存ファンドに注目するべきと思いがいか？

蛇足だが「オーロラ」「オーロラII」同士では乗り換えの手数料が不要という利点も。

どの期間でも特定地域集中投資型ファンド「オーロラ」「オーロラII」が騰落率の上位に
—過去1年・3年・5年の追加型株式投資信託の騰落率ベスト10—

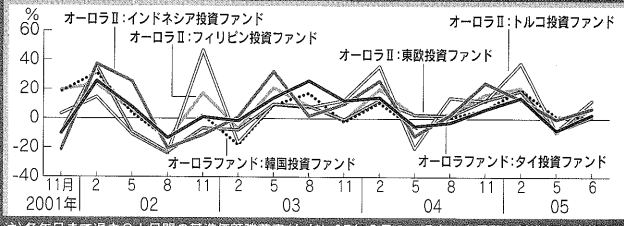
ファンド名	会社名	当初設定年月日	1年(%)
オーロラIIトルコ投資ファンド	野村	1996年9月12日	77.12
オーロラIIインドネシア投資ファンド	野村	1996年7月12日	60.94
オーロラII東欧投資ファンド	野村	1996年7月12日	42.28
オーロラファンド韓国投資ファンド	野村	1997年6月16日	37.81
アジア太平洋先進国株式ファンド	日興	1998年5月29日	36.10
野村US-REITオープンB	野村	2004年1月29日	34.33
野村US-REITオープンD(毎月分配型)	野村	2004年1月29日	34.22
ノムラ日米REITファンド(毎月分配型)	野村	2004年4月30日	33.87
AIGアジア株式・オープン	エーアイジー	2001年3月30日	33.28
三菱/メロングローバルイノベーション	三菱	2000年6月30日	32.97

ファンド名	会社名	当初設定年月日	3年(%)
ジャパン・エンタープライズオープン	インベスコ	2000年4月28日	226.06
オーロラIIトルコ投資ファンド	野村	1996年9月12日	219.73
インベスコ店頭・成長株オープン	インベスコ	1993年12月29日	197.14
コメルツ日本小型株オープン	コメルツ	1999年10月29日	187.27
エンジェル・ファンド	ドイツエ	1996年8月28日	148.14
オーロラII東欧投資ファンド	野村	1996年7月12日	133.65
JF成長株・オープン	J・P・モルガン	1999年1月29日	128.24
JASDAQオープン	UFパートナーズ	1994年10月14日	121.65
SGターゲット・ジャパン・ファンド	ソニエティネラル	2000年8月31日	115.28
日本低位株ファンド	野村	1993年6月10日	113.61

ファンド名	会社名	当初設定年月日	5年(%)
ゴールド・メタル・オープンB	メリルリンチ	1995年2月24日	247.74
エンタープライズオープン	インベスコ	2000年4月28日	197.73
インベスコ・ゴールド・ファンド	インベスコ	1996年4月26日	163.42
オーロラII東欧投資ファンド	野村	1996年7月12日	162.44
オーロラIIインドネシア投資ファンド	野村	1996年7月12日	142.97
インベスコ店頭・成長株オープン	インベスコ	1993年12月29日	137.54
ワールド金銀株オープンB	大和	1996年3月11日	121.03
グローバルバリュー株オープン	朝日ライフ	2000年3月24日	113.51
ゴールド・メタル・オープンA	メリルリンチ	1995年2月24日	103.79
アジア製造業ファンド	ヘアリング	1996年3月28日	103.12

注)追加型株式投資信託の6月末時点での過去1年・3年・5年の基準価額騰落率の上位10位を掲載。ファンド名および会社名は一部略称

3カ月間ごとに見ると意外なほど騰落率のアップダウンが激しいか…
「オーロラ」「オーロラII」主要ファンドの短期的騰落率推移



注)各年月まで過去3カ月間の基準価額騰落率(ただし05年6月のみ過去1カ月間の基準価額騰落率)